

目指せ 金メダル!



×



# ゴールボール日本代表を スポーツ医科学でサポート

横浜市スポーツ医科学センター（指定管理者：公益財団法人横浜市スポーツ協会）は、一般社団法人日本ゴールボール協会とゴールボール日本代表への医科学サポートに関する覚書を締結しました。（2021年4月1日から2022年3月31日までの1年間）  
お互いの力を集結して『東京2020パラリンピック競技大会』に挑みます。

## ※ゴールボールとは

ゴールボールは視覚に障害のある人を対象に考えられたボール競技で、パラリンピック特有の種目です。アイシェード（目隠し）をつけた選手が、鈴の入ったボールを転がすように投げ合って、相手ゴールにボールを入れて得点を競う競技です。

視覚以外のすべての感覚を研ぎ澄ませ、音と味方の声などを頼りにプレイをしていきます。

## ■主なサポート内容

- (1) メディカルトレーナー対応  
理学療法士の派遣、チームスタッフとの連携
- (2) メディカルチェック、フィットネスチェックサポート  
選手・スタッフのメディカルチェック、フィットネスチェック、リハビリなどの支援
- (3) チーム連携事業  
サポート活動を通じた、ホームページ・メディア等でのPR



調印式の様子



横浜市スポーツ医科学センター 青木 治人センター長（写真右）  
（一社）日本ゴールボール協会 梶本 美智子 会長（写真中央）  
横浜市スポーツ医科学センター 藤堂 愛 理学療法士（写真左）

## お問合せ先

横浜市スポーツ医科学センター 事業調整課長 谷 慎也 TEL 045(477)5050